



日本を飛び出して海外に「日本語」の素晴らしさを伝える人を求めています！



## 平成30年度(2018年度) 海外派遣 日本語専門家 募集のお知らせ

### 書類提出期限

上級専門家・専門家：平成29年8月14日(月)

指導助手：平成29年8月4日(金)

### お問い合わせ先

国際交流基金(ジャパンファウンデーション) 日本語事業部 事業第2チーム  
日本語専門家派遣 公募担当 Mail:sakura\_adoption@jpf.go.jp

### 国際交流基金ホームページ

「平成30(2018)年度海外派遣 日本語専門家 公募のお知らせ」をご覧ください。  
[http://www.jpf.go.jp/j/about/recruit/japan\\_30.html](http://www.jpf.go.jp/j/about/recruit/japan_30.html)

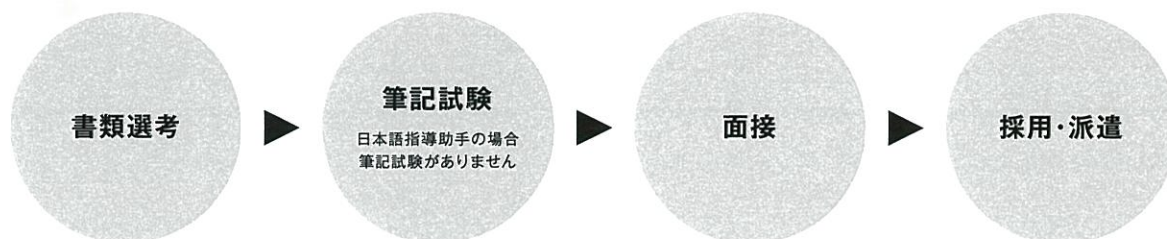
詳しくはWEBで！



JAPAN FOUNDATION



応募・選考の流れ



応募要項

国際交流基金(ジャパンファウンデーション)では、平成30(2018)年度に海外に派遣する日本語上級専門家、日本語専門家、日本語指導助手を以下の要領で募集します。

	日本語上級専門家	日本語専門家	日本語指導助手
募集人数	10名程度	25名程度	10名程度
任期	平成30年度中に派遣 <b>通常2年</b> (1年の延長の可能性あり) (任国の諸条件により2年未満の場合あり)		平成30年度中に派遣 <b>通常2年</b> (任国の諸条件により2年未満)
資格	日本語を母国語とする ①平成30年4月1日現在65歳未満 ②日本語教育関連分野で修士号以上 ③日本語教授経験10年以上 ④平成30(2018)年3月4日(日)から3月10日(土)に国際交流基金日本語国際センター(さいたま市北浦和)で実施予定の派遣前研修に参加できること。	日本語を母国語とする ①平成30年4月1日現在65歳未満 ②日本語教育関連分野で修士号以上 ③日本語教授経験2年以上 ④平成30(2018)年3月4日(日)から3月10日(土)に国際交流基金日本語国際センター(さいたま市北浦和)で実施予定の派遣前研修に参加できること。	日本語を母国語とする ①平成30年4月1日現在で35歳未満 ②4年制大学卒業以上 ③大学または大学院で日本語教育を主専攻または副専攻として修了、または日本語教育能力検定試験合格者、または日本語教師要請講座(420時間)修了者等 ④平成30(2018)年3月4日(日)から3月10日(土)に国際交流基金日本語国際センター(さいたま市北浦和)で実施予定の派遣前研修に参加できること。
手続き	書類の提出 平成29(2017)年8月14日(月)必着		書類の提出 平成29(2017)年8月4日(金)必着
待遇	旅費、報酬等 (基本報酬、在勤加算、家族加算、子女教育経費、住居経費、研修補助費等)を支給。 共済制度あり。		旅費、滞在費、 住居経費、研修補助費等を支給。 共済制度あり。



詳しくは

上記に掲載以外の詳しい募集要項、応募用紙、業務内容・派遣先・派遣時期・待遇  
昨年度の試験問題などについては、国際交流基金のホームページに掲載されています。  
[http://www.jpf.go.jp/j/about/recruit/japan\\_30.html](http://www.jpf.go.jp/j/about/recruit/japan_30.html)

お問い合わせ先

国際交流基金(ジャパンファウンデーション)  
日本語事業部 事業第2チーム 日本語専門家派遣 公募担当 Mail:sakura\_adoption@jpf.go.jp